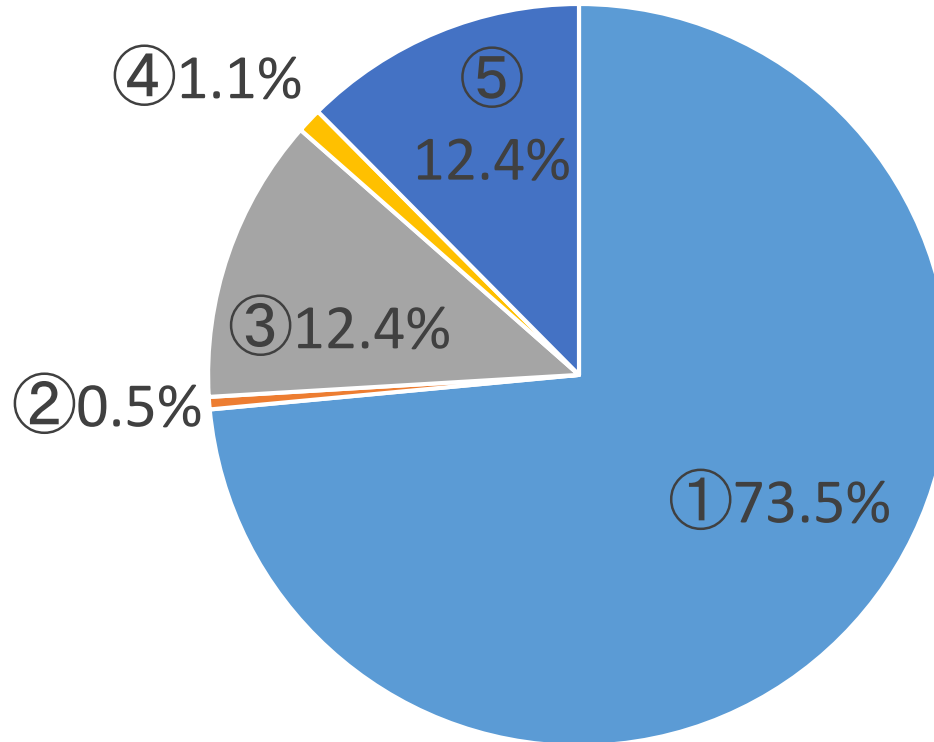


お薬手帳の活用促進事業

お薬手帳の利用について(平成29年度県政モニターアンケート調査)
【お薬手帳の所有状況】

n=370

18～19歳: 13人
20～29歳: 48人
30～39歳: 80人
40～49歳: 76人
50～59歳: 64人
60～69歳: 64人
70歳以上: 25人

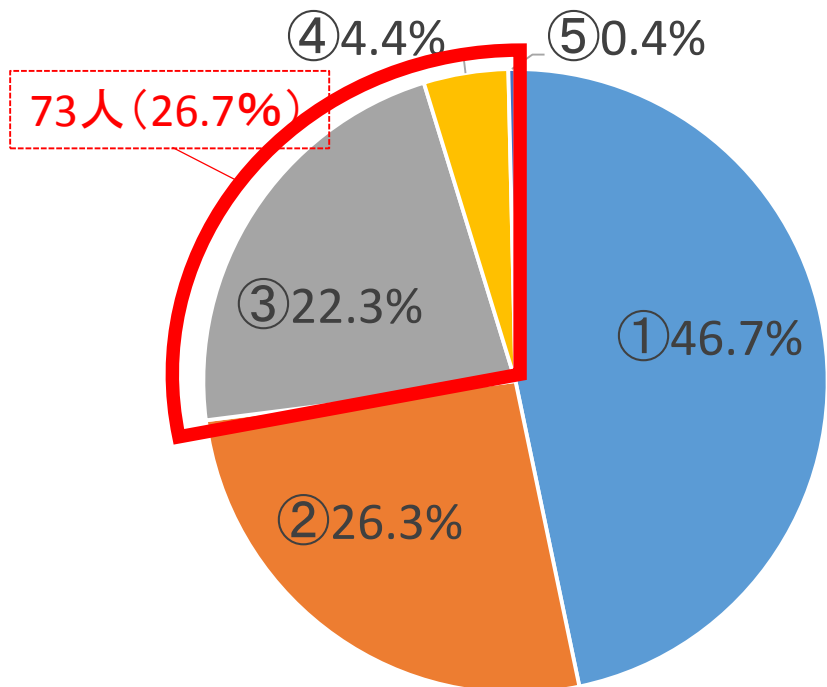


問	人	%
① 紙のお薬手帳を1冊持っている	272	73.5
② 電子版のお薬手帳を持っている	2	0.5
③ 紙のお薬手帳を複数冊持っている	46	12.4
④ 紙のお薬手帳と電子版のお薬手帳を持っている	4	1.1
⑤ 持っていない	46	12.4

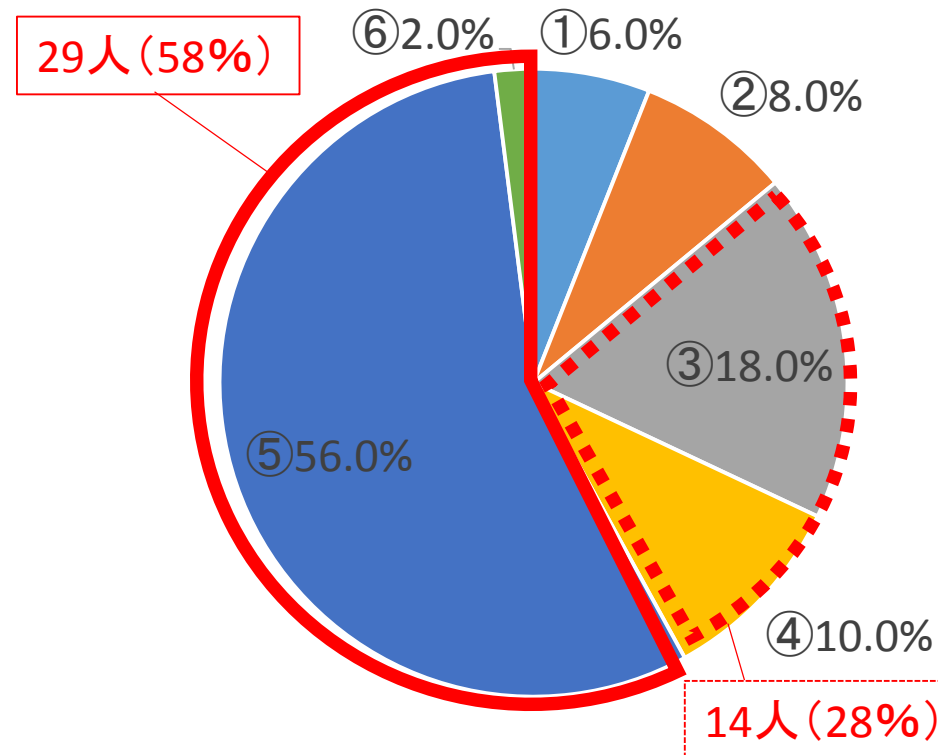
お薬手帳の活用促進事業

お薬手帳の利用について(平成29年度県政モニターアンケート調査)

【紙で1冊又は電子版を持っている人の持参状況(n=274)】 【紙で複数又は紙と電子版を持っている人の持参状況(n=50)】



問	人	%
① いつも持っていく	128	46.7
② 持っていくことが多い	72	26.3
③ 持っていないことが多い	61	22.3
④ 持っていない	12	4.4
⑤ 無回答	1	0.4

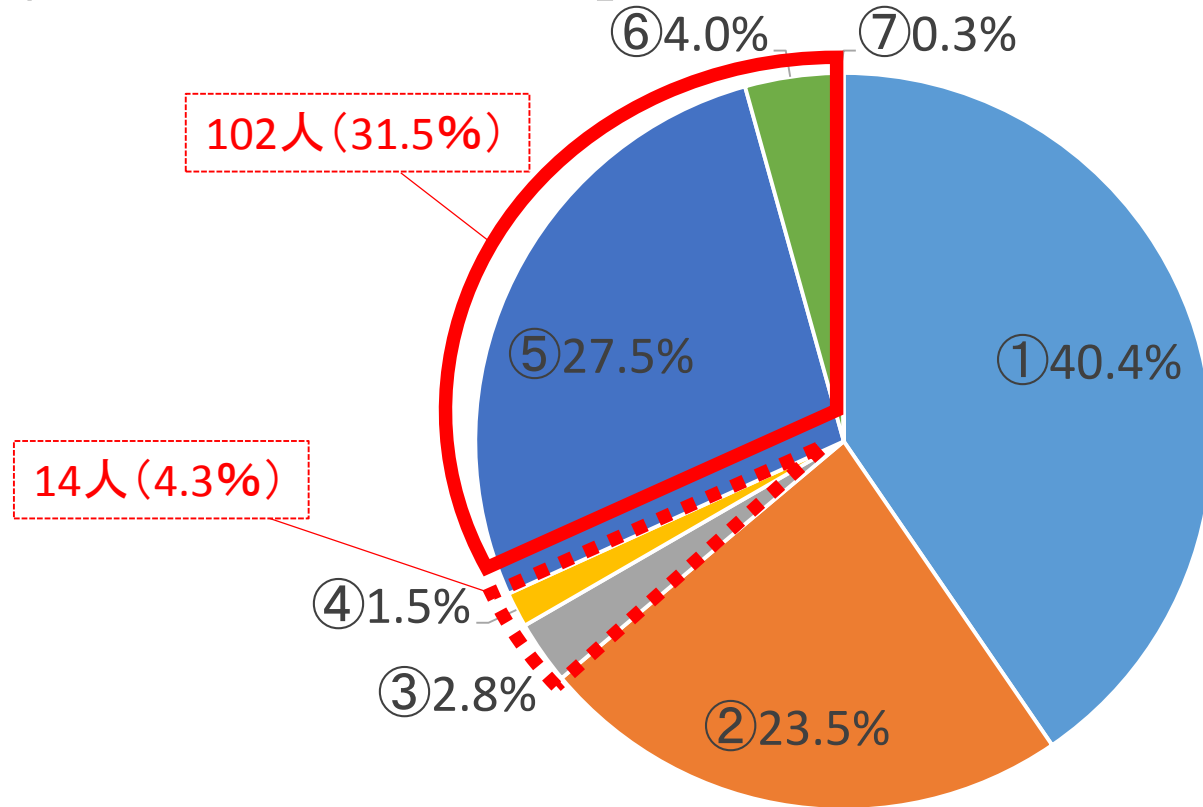


問	人	%
① 全てをいつも持っていく	3	6.0
② 全てを持っていくことが多い	4	8.0
③ 一部をいつも持っていく	9	18.0
④ 一部を持っていくことが多い	5	10.0
⑤ 持っていないことが多い	28	56.0
⑥ 持っていない	1	2.0

お薬手帳の活用促進事業

お薬手帳の利用について(平成29年度県政モニターアンケート調査)

【お薬手帳の持参状況(n=324)】

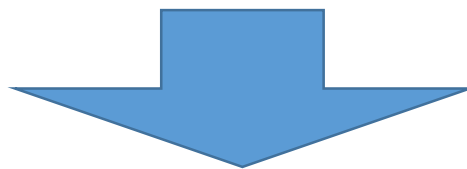


問	人	%
① いつも持っていく	131	40.4
② 持っていくことが多い	76	23.5
③ 一部をいつも持っていく	9	2.8
④ 一部を持っていくことが多い	5	1.5
⑤ 持っていないことが多い	89	27.5
⑥ 持っていない	13	4.0
⑦ 無回答	1	0.3

お薬手帳の活用促進事業

【現状】

- 紙で1冊又は電子版のお薬手帳を持っている人であっても、26.7%が医療機関や薬局へ持参していない。
- 紙で複数又は紙と電子版のお薬手帳を持っている人は、56.0%が医療機関や薬局へ持参していない。また、28.0%が一部のお薬手帳のみを医療機関や薬局へ持参している。



【取組】

お薬手帳を持参することの意義やメリットについて普及啓発するためのリーフレット及びお薬手帳の持参を促す「ポケット付きお薬手帳ホルダー」(保険証、診察券などと併せてお薬手帳を携行できる)を重複服薬者に送付し、その効果を解析する。

これらの取組によりお薬手帳の持参を促し、薬局における服薬情報の一元管理を促進する。

※ 重複服薬者

同一月に複数の医療機関から、30日以上同一薬効の薬剤の投与を受けている者。

重複服薬者の数: 約11,000人

※ リーフレットの内容

お薬手帳を一元化することにより医師や薬剤師が患者の服薬情報を共有でき、相互作用や重複服用を防ぐことが可能となること。

